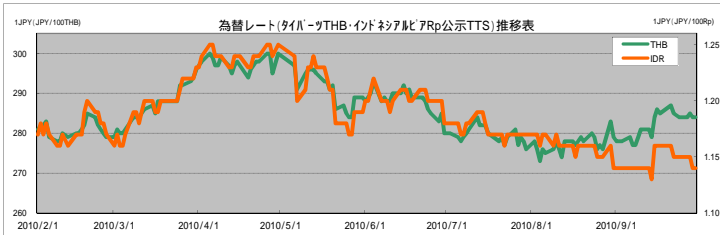
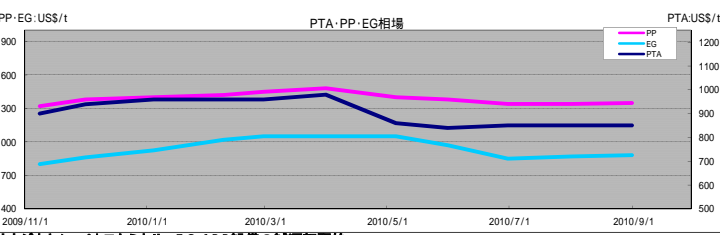


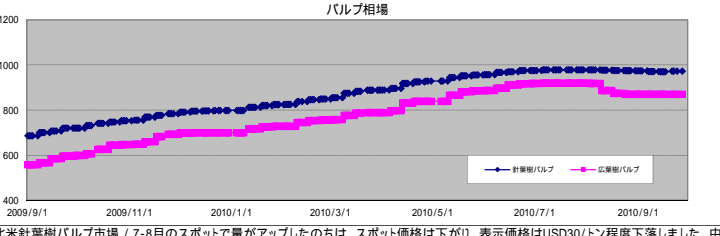
9月経済の動き @84円/\$を超えた水準で9月をスタート、序盤は米8月雇用統計の予想以上の好結果から@85.23円/\$迄ドルが買われるも進まない本邦円高対策等から@83.34円/\$迄反転した。



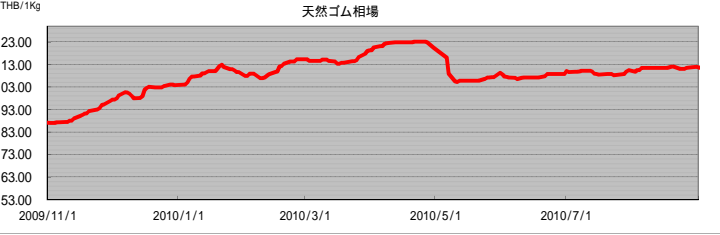
タイバ-ツ相場 @31.30THB/\$水準で9月をスタート、タイ政府のTHB高容認姿勢継続の中、リクイティ姿勢 アジア株への資金流入となる@30THB/\$台に突入し、日銀介入時に一時調整戻しが入るも直ぐに反転、一ヶ月を通過してハク高一辺倒の推移となる。



サウジアヤン・ベトロケミカル、EG/PP設備の試運転開始 サウジ基礎産業社が出資するサウジアヤン・ベトロケミカルは、サウジアラビアのジュベール工業団地で建設を進めている大型石化コンプレックスのうち、EG(エチレンオキシド)とEG(エチレングリコール)年産53万7,000t(EGベース)設備とPP(ポリプロピレン)35万t設備の試運転を行いました。



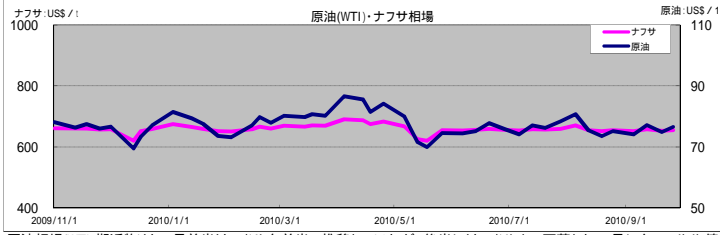
北米針葉樹バルブ市場 7-8月のスポットで量がアップしたのは、スポット価格は下がりが、表示価格はUSD30/トン程度下落しました。中国の購買力の増加により工場稼働は良く保たれています。



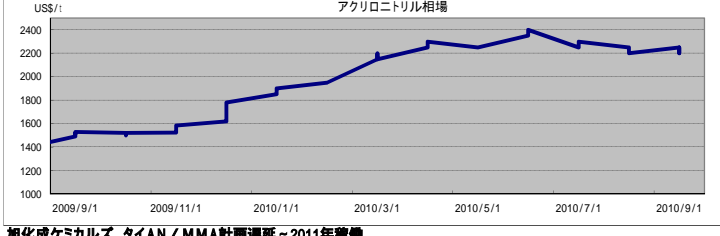
タイのタイヤ生産拡大 タイの1-8月の自動車生産累計台数は105万5808台、前年同期比93%増となり、09年同年の約百万台を早くも突破した。

不織布トピックス 国内レーヨン2社 ~原料の溶解バルブが高騰の為、短繊維価格改定が緊急課題~ レーヨン原料である溶解バルブ価格が高騰し9月には史上最高値を更新。

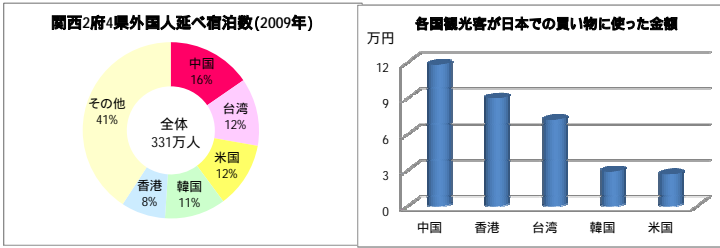
海外トピックス 中国、エネルギー協力拡大 石炭、原子力などを柱 中国の胡錦濤国家主席と、ロシアのメドヴェージェフ大統領は9月27日の首脳会談で、貿易・投資やエネルギー分野の協力拡大で合意した。



原油相場(WTI, 期近物)は、8月前半は80ドル前半で推移していたが、後半には71ドルまで下落した。9月に入ってやや値を戻し、足元は70ドル前半で推移している。



旭化成ケミカルズ、タイAN/MMA計画遅延~2011年開幕 旭化成ケミカルズは、PTT(タイ石油公社)および丸紅との合弁によりタイで進めているAN(アクリロニトリル)・MMA(メチルメタクリレート)プラント新設プロジェクトについて、稼働時期が当初予定していた2010年末から2011年半ばになったと発表した。



電気街のある日本橋から道頓堀をつなぐ堺筋には連日、中国人観光客を乗せたバスが並び、さながら「チャイナロード」の様相を呈している。

家電トピックス レアアース、加速する「脱中国」 中国が省エネ家電などの部品に不可欠なレアアース(希土類)の日本向け輸出を規制したことを受け、代替品の開発と、調達先を分散する動きが加速している。

金融・ビジネストピックス 為替介入後も残留する円高圧力 国内景気は、ここきて、海外経済の先行き不透明感が強まっていることや、エコカー・エコ家電への購入支援策の効果が一巡したことなどによって、回復テンポが鈍化し始めています。

本誌の記事内容に誤り等存在する場合も有りますので、あくまでご参考の資料としてご利用頂きますと大変有難く存じます。本誌のデータは各種公表数字を基に作成しております。